

働く仲間はたたかうN関労に結集しよう!!

LALUZ

(ラ・ルース)

2011年12月19日(月) No. 77

N関労 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 兼廣 英治

事務所：尼崎市武庫町 1-36-22 NTT 武庫之荘別館 3F

Tel. 090-8979-5088 Fax. 06-6436-4076

Eメール: takara-kanet@kobe.email.ne.jp

<http://www.n-kanrou.com/>

高山裁判、大阪地裁で初公判を迎える

家庭を取り戻す

闘いが始まった

この4月、熊本から大阪へ配転となった高山さんが「家族が健康に不安を抱える中での配転は不当だ」としてNTT西日本を訴えた裁判（以下、高山裁判）の初公判が12月2日、大阪地裁609号法廷で開かれた。

当日は一時、雨もパラつき、昨日までの暖冬に終止符を打つかのような肌寒い一日となった。このような天候にも拘わらず、高山さんの支援に大阪天六ユニオン、熟年者ユニオン、新社会党情報党员協の仲間が駆けつけ、N関労組合員を含め11名での傍聴となった。

ただ、裁判は初公判ということもあり、書面の確認や次回公判の日程を確認するだけに留まり、わずか20分足らずで閉廷となった。

公判終了後、兼広委員長は支援者を前にし、傍聴に駆けつけていただいたことへの謝辞を述べた後「乳がんが再発しないかどうか検診を続ける奥さん、高齢で物忘れのひどくなった実母、働いてはいるものの家に帰れば部屋に閉じこもる鬱病を抱えた長男。NTTはこのような家族を残して高山さんを大阪へ強制配転してきた。満了型を選択した者は絶対に許さないとの意思が読み取れる。



支援に駆けつけた仲間たち（大阪地裁にて）

この高山裁判は非常に難しいものになるが、勝っても負けても『50歳退職・再雇用制度』の理不尽さを暴き出していく」とし、今後も変わらぬ支援を要請した。

支援に駆けつけた仲間からも激励の挨拶があり、神戸市から駆けつけた熟年者ユニオンの米岡さんからは「闘う労働者が見られなくなった今、裁判を起こしてまで闘う高山さんに敬意を表したい」と述べ、今後も一貫した支援を行っていくとの決意が語られた。

次回、公判は2月17日、609号法廷。

初公判を終えて

高山賢輔

異議申し立て書の提出から組合による団体交渉を経ての裁判。この間の会社の誠意のない対応に新たな怒りを感じる。業務上必要な配転であるなら、責任者が出てきて堂々と説明すれば良いはずだ。それが出来ないところに満了型選択者に対する不当配転の実態がある。

家族の状況を考えると一日でも早く熊本に帰りたい気持ちで一杯ですが、焦らず「裁判」通して、会社の不当性を明らかにして帰りたいと思います。皆様のご支援を宜しくお願い致します。

テルウェル、4寮に自治会をゴリ押し 寮生との話し合いは 不調に・・・

……八尾寮、宝塚寮など……

テルウェルはNTT西日本からの依頼を受け、現在、自治会を持たない八尾、宝塚、枚方、島本の4寮に対し、自治会の設置を強行してきた。

11月30日には宝塚独身寮で寮生を集め、説明会が開催された。テルウェルからは厚生サービス部門長岡野充宏氏を筆頭に3名が出席。だが、肝心の寮生の集まりが悪く、全体で20名足らず。中でも若い人の参加はわずか2名に留まった。

説明会は初っ端から荒れ模様となった。テルウェルからの説明会への呼びかけが、すでに自治会を作ることは決定しており、今回はそのための準備会の設置である、としたことが寮生の反感を呼ぶことになった。

寮生からは「自治会とは寮生自らの判断で作るもの。なぜ、他者の指図を受けなければならないのか」など、ほとんどの寮生がゴリ押しの自治会設置に憤りを露にした。

「元々、宝塚寮には自治会はあったのか。あつ

たとすれば無くなった経緯についても説明するのが前提だろう」「自治会は現在、存在しないのに毎月100円の自治会費を支払わされている。どういう性質のもので何に使われたのか。説明してほしい」「共益費等について収支報告をしてほしい」など、自治会どころか、ずさんな寮運営が問題にされる場面も。

当労組が調べたところによると宝塚寮にもかつては自治会が存在していたことが判明した。ただし、今回、テルウェルが画策している自治会による寮費の計算・集金、入・退寮時の対応や事務処理、駐車場の管理などの業務は住み込みで常駐していた寮監（テルウェルより派遣）が行っており、自治会の寮長は多少の手伝いはしても寮業務は行っていなかった模様。因みに寮長は寮祭などの各種行事等の運営が主だった任務であった。

昔と比べ、寮生が減少したとはいえ、現時点で宝塚寮には約100名、八尾寮にも約150名が入寮している。

また、他県からの入寮者も多く、土日に帰省するなど、寮生による寮業務の運営は極めて困難な状況にあるといえる。

テルウェルは自治会設置の理由として「2名の寮監が4寮の業務を受け持っているが、寮監制度が廃止されることになった。自治会で業務をやっていただくしかない」とした。これに対し、寮生から「NTTが寮監の経費を削減したのか」と問いただしたのに対し「そうではない」と回答。

しかし、宝塚寮での説明に先立って行われた八尾寮での説明は「NTTから寮監の経費が削減された」と言うもの。

寮生を欺いてまでの自治会設置に至っては最早、話し合いの余地はない。

今後の説明会の日程は未定だが、テルウェルの説明に対し、まともに耳を傾ける寮生はいないのではないだろうか。

寮監による横領事件での被害者への対応も含め、テルウェルの信頼は地に堕ちている。

JAL解雇撤回闘争に連帯する 兵庫の会結成総会

根拠無き165名の解雇

1月1日、神戸勤労会館において「日本航空（JAL）解雇撤回闘争に連帯する兵庫の会結成総会」が行われた。総会には兵庫の仲間約70名参加し、会は発足する運びとなった。

開会あいさつ、会則の提案後、N関労特別執行委員でもある事務局の佐野修吉氏から「今、なぜ『掃討作戦』か」の基調講演が行われた。

基調要旨 JALは稲盛氏が会長になって165名もの解雇を強行した。希望退職で予定以上の退職者が出ているのを知りながら「年をとっている」「休んだ」「組合員だ」等で企業存続が危ぶまれるほどの人員を解雇し、会社の言いなりになるものだけの会社にした。破産の原因が国策による業務の強制など、「官民」癒着と市場拡大に頼った放漫経営であったにもである。

国鉄闘争は敗北に終わり、日本から大きな闘いが消えているが、世界の労働者は闘っている。ウォール街のデモだけでなく、ギリシャでもストライキで闘っているし、世界中の航空労働者もストライキで闘っている。アメリカではわずか1%の資産家が世界の資産の40%を持っている。「アラブの春」から学んだウォール街占拠が一気に世界中に広がり、地球が一つの時代になってきている。

日本の労働者は74年以降負け続け、負け犬根性が染込んでいるし、若い人は闘い方を知らない。JAL闘争を私達自身の闘いにし、闘う仲間を支えあえる組織にして行こう……。

……………

JAL解雇撤回闘争原告団からは鈴木さんが来申し、闘いの経緯および現状報告を行った。報告は、稲盛会長自身が「165名の解雇は必要なかった」「黒字を計上できるようになった」との記者会見での発言や、現場では安全より利益追求が浸透し、20万円の燃料代を浮かすために台風の中

を飛ばすなど、安全運航という運輸業の根幹が揺らいでいる、というもの。



JAL闘争支援に70名の仲間が……

兵庫の仲間からは解雇闘争を闘っている全港湾の伊藤運輸分会をはじめ、明石地域ユニオン東亜外業分会、関西ソフラン化工労働組合がそれぞれ闘争の現状を報告。また、大阪教育合同労組は橋下（現在は大阪市長）府政の下で教育に介入されている実態を披瀝。最後に大阪全労協の高橋さんからは大阪や京都においてもJAL支援共闘会議が結成されていることが報告された。

春闘要求アンケートに協力を

Webからも参加できます

職場から春闘の火が消えて久しい……などと書き続けて幾星霜。しかし、しかし、賃上げ闘争をやめられない状況も。東日本大震災復興財源としての所得税の引き上げ、医療費の値上げ、消費税率10%へ……など、など、生活費の負担増加は幾重層。

N関労は12春闘もアンケートに取り組むことに。今回は「派遣社員、契約社員、60歳越え契約社員」用のアンケートも用意（4面へ掲載）。また、Webからもアンケートへ参加できるようになった。**N関労**で検索し、NTT関連労働組合協議会のホームページへ。次に**春闘要求アンケート**をクリック。該当するアンケートを選択し、記入。後は送信するのみ。是非ともお試を。